

2017年度 一般入試第一次試験  
学部・学科別使用試験問題一覧および正誤表

試験日	学部・学科等	使用試験問題
2月 5日(日)	文学部(哲学科)	1英語、2日本史、2世界史、2数学、2国語、学科試験
	文学部(史、新聞学科)	1英語、2日本史、2世界史、2国語、学科試験
	総合人間科学部(教育学科)	1英語、2日本史、2世界史、2数学、2国語
	総合人間科学部(社会福祉学科)	
	法学部(国際関係法学科)	

<訂正>

実施日	試験問題	訂正箇所	誤	正
2月5日	2日本史	P.4 ① 5行目 [E]	あらん」と思い、	あらん」と思て、
		P.15 ③ 問2 [語群] ㊹	1837	1839

(2017年度)

## 2 日本史問題 (60分)

(この問題冊子は20ページ, 4問である。)

### 受験についての注意

1. 試験監督者の指示があるまで, 問題冊子を開いてはならない。
2. 試験開始前に, 試験監督者から指示があったら, 解答用紙の右上の番号が自分の受験番号と一致することを確認し, 所定の欄に氏名を記入すること。次に, 解答用紙の右側のミシン目にそって, きれいに折り曲げてから, 受験番号と氏名が書かれた切片を切り離し, 机上に置くこと。
3. 試験監督者から試験開始の指示があったら, この問題冊子が, 上に記したページ数どおりそろっていることを確かめること。
4. 筆記具は, HかFかHBの黒鉛筆またはシャープペンシルに限る。万年筆・ボールペンなどを使用してはならない。時計に組み込まれたアラーム機能, 計算機能, 辞書機能やスマートウォッチなどのウェアラブル端末を使用してはならない。
5. 解答は, 解答用紙の各問の選択肢の中から正解と思うものを選んで, そのマーク欄をぬりつぶすこと。
6. マークをするとき, マーク欄からはみ出したり, 白い部分を残したり, 文字や番号, ○や×をつけたりしてはならない。また, マーク箇所以外の部分には何も書いてはならない。
7. 訂正する場合は, 消しゴムでていねいに消すこと。消しきずはきれいに取り除くこと。
8. 解答用紙を折り曲げたり, 破ったりしてはならない。
9. 試験監督者の許可なく試験時間中に退場してはならない。
10. 解答用紙を持ち帰ってはならない。
11. 問題冊子は必ず持ち帰ること。

- 1 次に掲げた史料は、平安時代のある事件について描いた、『宇治拾遺物語』中の一話である。よく読んで、あとの問いに答えなさい。なお、設問の都合上、空欄 [ ] で伏せた語句がある。

【史料】『宇治拾遺物語』下巻114話

[A] 今は昔、水尾の御門<sup>(a)</sup>の御時に、応天門焼けぬ。人の付けたるになんありける。それを [ ]<sup>(b)</sup>、「これは、 [ ] のしわざなり」と大やけに申ければ、その [ ] を罪せんとせさせ給けるに、忠仁公<sup>(c)</sup>、世の政は御おとうとの西三条の右大臣にゆづりて、白川にこもりみ給へる時にて、この事を聞きおどろき給て、御烏帽子、直衣ながら移の馬に乗給て<sup>(d)</sup>、乗りながら北の陣までおはして、御前に参り給て、この事申。「人の讒言にも侍らん。大事になさせ給ふ事、いと異様の事也。かかる事は返す返すよくただして、まこと、そらごとあらはして、おこなはせ給べきなり」と奏し給ければ、まことにもとおぼしめして、たださせ給に、一定もなき事なれば、「許し給よし、仰せよ」とある宣旨、うけ給てぞ、大臣は帰給ける。

○まこと、そらごとあらはして…ことの虚実を明らかにして。 ○一定もなき事なれば…確かなことは何ひとつなかったの。

[B] [ ] は、すぐしたる事もなきに、かかるよこざまの罪にあたるを、おほし<sup>なげ</sup>歎きて、日の装束して、庭にあらごもを敷きて出でて、天道に訴へ申給けるに、許し給ふ御使に、頭中将<sup>(e)</sup>、馬に乗りながら、馳せまうでければ、いそぎ罪せらるる使ぞと心得て、ひと家泣きののしるに、許し給よし、おほせかけて帰ぬれば、又、悦泣きおびたたしかりけり。許され給にけれど、「大やけにつかうまつりては、よこざまの罪いできぬべかりける」といひて、ことに、もとのやうに宮仕へもし給はざりけり。

○よこざまの罪…不当な罪。 ○日の装束…公事の際の装束。 ○大やけにつかうまつりては、よこざまの罪いできぬべかりける…朝廷に奉仕するには、不当な罪を得るような者は出ていかないほうがよいのだ。

[C] 此事は、過にし秋の比、右兵衛<sup>(f)</sup>の舎人なるもの、東の七条に住けるが、つかさに参りて、夜更て家に帰るとて、応天門の前を通りけるに、人のけはひし

てささめく。廊の腋わきに隠れ立ちて見れば、柱よりかかぐり下るる者あり。あやしくて見れば、なり。次に子なる人下る。又次に雑色とよ清といふ者下る。「なにわざして下るるにかあらん」と、つゆ心も得で見ると、この三人下りはつるままに、走る事かぎりなし。南の朱雀門さまに走っていぬれば、この舎人も家さまに行程に、二条堀川のほど行に、「大内の方に火あり」とて大路ののしる。見かへりて見れば、内裏の方と見ゆ。走かへりたれば、応天門の上のなからばかり燃えたるなりけり。「このありつる人どもは、この火つくとて、のぼりたりけるなり」と心得てあれども、人のきはめたる大事なれば、あへて口より外に出さず。その後、のし給へる事とて、「罪かうぶり給べし」といひののしる。「あはれ、したる人のある物を、いみじき事かな」と思へど、いひ出すべき事ならねば、いとおしと思ひありくに、許されぬと聞けば、罪なき事はつるにのがるる物なりけりとなん思ける。かくて、九月斗ばかりになりぬ。

○かかぐり下るる…そつと下りてくる。 ○なにわざして下るるにかあらん…一体何をしていて、あんなところから下りてきたのか。 ○つゆ心も得で…訳も分からずに。 ○人のきはめたる大事…人の身の上に関わる重大な事柄。

[D] かかる程に、の出納の家の幼き子と、舎人が小童といさかひをして、出納ののしれば、出でて、とりさへんとするに、この出納、同じく出でて、見るに、寄りてひきはなちて、我子をば家に入て、この舎人が子の髪を取て、うちふせて、死ぬばかり踏む。舎人思ふやう、「我子も人の子も、ともに童部いさかひなり。ただ、さてはあらで、我子をしもかく情なく踏むは、いと悪しき事なり」と腹立たしうて、「まうとは、いかで情なく、幼きものをかくはするぞ」といへば、出納いふやう、「おれは何事いふぞ。舎人だつるおればかりのおほやけ人を、わがうちたらんに、何事のあるべきぞ。わが君、殿のおはしませば、いみじきあやまちをしたりとも、何事の出で来べきぞ。しれ事いふかたいかな」といふに、舎人、大きに腹立て、「おれは何事いふぞ。わが主のをかうけに思ふか。をのが主は我口によりて人にてもおはするは、知らぬか。我が口あけては、をのが主は人にてはありなんや」といひけ

れば、出納は腹立ちさして、家にはい入にけり。

○とりさへんと…仲裁しようと。 ○まうとは…お前は。 ○しれ事いふかたかな…馬鹿なことをいう乞食め。 ○かうけ…権勢のある家。

[E] このいさかひを見るとて、里隣の人、市をなして聞きければ、「いかにいふ事にかあらん」と思て、あるは妻子に語り、あるはつぎつぎ語りちらして、いひ騒ぎければ、世にひろごりて、大やけまできこしめして、舎人を召して問はれければ、はじめはあらがひけれども、我も罪かうぶりぬべく問はれければ、ありのくだりのことを申てけり。その後、も問はれなどして、事あらはれての後なん流されける。……

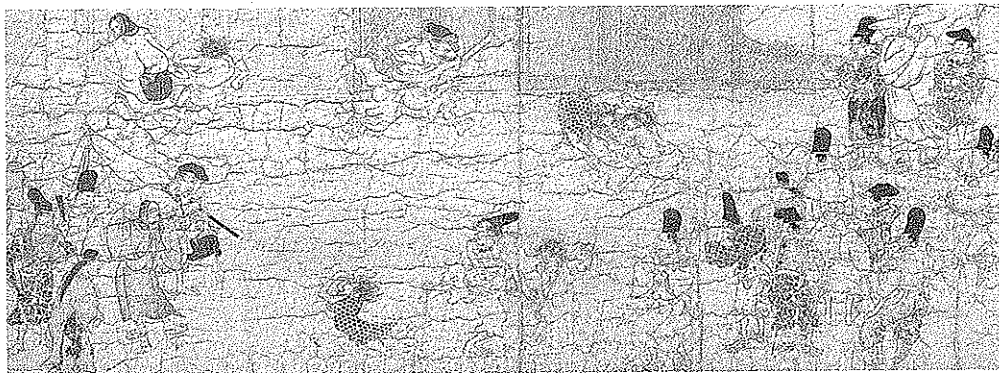
○大やけまで…朝廷まで。 ○我も罪かうぶりぬべく問はれければ、ありのくだりのことを申てけり…自分も罪を被りそうなほど厳しく問い詰められたので、一部始終をありのままに申し上げてしまった。

問1 史料に関する以下の問いに答えなさい。

(1) 『宇治拾遺物語』の説明として、正しい文章はどれか。もっとも適切なものを次から1つ選んで、記号で答えなさい。

- ① 1252年成立の説話集で、作者不詳。説話を10項目に分け、年少者への教訓としたもの。
- ② 鎌倉初期の説話集で、作者不詳。『今昔物語集』の原型ともなった『宇治大納言物語』に漏れ落ちた説話を集めたものと考えられる。
- ③ 平安末期成立の説話集で、源隆国の撰とされる。日本・インド・中国の3つの地域に分類された、仏教説話・世俗説話を収める。
- ④ 1254年成立の説話集で、橘成季の撰。神祇・政道・忠臣などの30の篇目にわたり、697話に及ぶ古今の説話を収録している。

- (2) 院政期には、史料に描かれた物語を題材に、常盤光長筆とされる著名な絵巻が成立している。下図は同絵巻の一部で、異時同図法が用いられている。下図は、史料[A]～[E]のいずれを表現した場面か。もっとも適切なものを1つ選んで、記号で答えなさい。



- (3) (2)の絵巻と、同時期に成立した絵巻はどれか。もっとも適切なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

- ① 『信貴山縁起絵巻』    ② 『春日権現験記』    ③ 『十二類絵巻』  
④ 『紫式部日記絵巻』    ⑤ 『一遍上人絵伝』

問2 史料の下線部(a)～(f)に関する説明として、正しい文章はどれか。もっとも適切なものをそれぞれ1つ選び、記号で答えなさい。

- (1) 下線部(a)について。

- ① 在位850～858年。仁明天皇と藤原良房の妹順子との間に生まれた道康親王が、承和の変による恒貞親王の廃太子を受けて即位。
- ② 在位858～876年。文徳天皇と藤原良房の娘明子との間に生まれた、惟仁親王が即位。
- ③ 在位884～887年。仁明天皇の皇子で、藤原基経らに擁立され、55歳で即位。
- ④ 在位887～897年。光孝天皇の皇子で、藤原基経の没後、天皇親政を実現した。

(2) 下線部(b)について。

- ① 平安京の正門。      ② 平安宮の南中央門。
- ③ 朝堂院の正門。      ④ 内裏の正門。

(3) 下線部(c)について。

- ① 皇太子恒貞親王が廃された事変は、この人物の陰謀とみられている。
- ② 妹の藤原高子を清和天皇の妃とした。
- ③ 清慎公とも呼ばれ、この人物以降、摂政・関白が常置となった。
- ④ 死の直前、臨時の除目で、関白を従兄弟に当たる藤原頼忠に譲った。

(4) 下線部(d)について。

- ① 烏帽子・直衣は貴族の寝間着であり、忠仁公の非常に慌てた様子を表している。
- ② 烏帽子・直衣は貴族の平常服であり、その姿で参内したことから、忠仁公が非常に急いだ様子を表している。
- ③ 烏帽子・直衣は乗馬に適切な装束であり、どのような時にも冷静な忠仁公の様子を表している。
- ④ 烏帽子・直衣は天皇の前では着用してはいけない装束であり、忠仁公の傲慢さを表している。

(5) 下線部(e)について。

- ① 「頭」は藏人頭、「中将」は近衛中将を指し、両者を兼任するものをいう。
- ② 蝦夷征討のために設置された臨時の將軍で、征夷大將軍の次位に置かれ、やがて実戦には参加しない名誉職となった。
- ③ 「頭」は藏人頭、「中将」は檢非違使別当の別名で、両者を兼任する者は、令外官の最高職であった。
- ④ 檢非違使の幹部の一職であり、高位の貴族の捕縛や詰問に当たった。

(6) 下線部(f)について。

- ① 律令官制においては、宮城の諸門を守護し、人物の出入を管理した。
- ② 律令官制においては、宮城の小門の警備、京内の巡検や追捕に当たった。
- ③ 律令官制においては、内門や車駕の警衛に当たった。
- ④ 765年に、授刀衛を改称し設置された。

問3 史料に描かれた実際の事件で処罰された人物は誰か。次の中から4人選び、記号で答えなさい。また、配流先の記されている選択肢については、正しいものを答えなさい。

- ① 伴健岑・隠岐      ② 伴健岑・佐渡      ③ 橘逸勢・伊豆
- ④ 橘逸勢・土佐      ⑤ 伴善男・佐渡      ⑥ 伴善男・伊豆
- ⑦ 伴中庸              ⑧ 源信                  ⑨ 紀豊城
- ⑩ 紀古佐美          ⑪ 紀夏井・讃岐      ⑫ 紀夏井・土佐

問4 史料に描かれた実際の事件の後、藤原北家は他家・他氏の排斥を続け、摂関政治を確立してゆく。史料に登場する忠仁公は初めての人臣摂政に、頭中将は初めての関白に任命されている。両者がそれぞれ摂政、関白を任されたとき、彼らはともに同じ本官に就いていた。それは何であったか。以下のA群より、その官職を説明する文章としてもっとも適切なものを1つ、B群より、生前にその官職に就任したことがある人物を4人選び、それぞれ記号で答えなさい。

[A群]

- ① 律令制下の最高官庁太政官における、常置の最高官職。
- ② 律令官制の最高責任者で、則闕の官。令制の施行以前にも、任官の記録がある。
- ③ 太政官の各政務・行事を上首として指揮する担当公卿。
- ④ 氏の首長で、氏寺・大学別曹の管理、一族の官位推挙に当たる。



[B群]

- ① 聖徳太子    ② 大友皇子    ③ 草壁皇子    ④ 藤原不比等  
⑤ 早良親王    ⑥ 藤原冬嗣    ⑦ 藤原兼家    ⑧ 藤原道長  
⑨ 源義家      ⑩ 平清盛

問5 史料に登場する頭中将とその息子たちが政権の首座にあった頃、経験した事変は何か。次の中からもっとも適切なものを3つ選び、記号で答えなさい。

- ① 長屋王の変    ② 藤原広嗣の乱    ③ 橘奈良麻呂の変  
④ 恵美押勝の乱    ⑤ 藤原種継暗殺    ⑥ 平城太上天皇の変  
⑦ 承和の変      ⑧ 応天門の変      ⑨ 阿衡の紛議  
⑩ 菅原道真左遷    ⑪ 承平・天慶の乱    ⑫ 安和の変

2 次の文章は、室町時代の産業について説明したものである。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

鎌倉時代に畿内や西日本に普及した(ア)を裏作とする水田の二毛作は、灌漑や排水施設の整備・改善によってさらに広まり、15世紀前半ころの畿内では稲・(ア)・蔬菜類あるいはソバなどの三毛作も行われていた。また、水稻の品種改良も進んで、各地の自然条件に応じた稲が栽培されるようになった。平安時代末期に伝来した(イ)は、赤米で白米にくらべて食味は劣るものの、早く成熟し、収穫量が多く、また日照りや虫害にも強かったため、庶民の食用米として広まった。

手工業の原料の栽培とその加工業も盛んになった。例えば、(ウ)はその葉を蚕の飼料とした。蚕の繭からとった糸は(エ)織物の材料となり、くず繭からは(オ)がつけられた。(カ)は茎の皮から繊維をとって糸をつくり、縮み・晒などの布を織った。(キ)は樹皮を和紙の原料とし、(ク)は樹皮から搾った汁を器などの塗料とした。茜は根から暗赤色の(ケ)を、藍は葉から藍色の(ケ)をとった。(コ)は種子から灯火に用いる(サ)をとった。

畿内では手工業者の座の数も増加した。大山崎の離宮八幡宮を本拠地としていた(サ)神人((サ)座)は、(シ)を本所とすることによって、畿内・美濃・尾張・阿波など10カ国以上の(サ)の販売とその原料である(コ)購入の独占権を与えられていた。このほかにも(ス)の西京麴売神人(麴座)や(セ)の(オ)神人((オ)座)などがよく知られている。

地方でも守護大名や戦国大名の保護のもとで手工業者が成長し、その地方の特色を生かして特産品を生産するようになった。京都では高級(エ)織物が生産されたが、加賀・丹後などの(エ)織物も有名になった。そのほか、(ソ)の杉原紙、越前の鳥の子紙、美濃・尾張の陶器、出雲の鉄、能登・筑前の釜、河内の鍋なども有名であったが、特に刀剣は国内だけでなく日明貿易の輸出品としても需要があったことから、(タ)の長船や(チ)の関などの特産地を中心に大量に生産された。

水産業では、網漁が発達し、海底に大網を沈めて魚類をとる(ツ)網だけで

なく、帯状の網を魚の通路に垣のようにはる刺網なども使用されるようになった。製塩業では、塩田に人力で海水をくみあげて自然蒸発によって濃い塩水をつくり、これを煮つめて塩をとり出す従来の(テ)法に加え、砂浜を堤で囲み、潮の干満を利用して海水を導入する古式(ト)もつくられるようになった。これがのちに(ト)塩田となる。

林業・製材業では、室町時代に中国から2人で引く(ナ)が伝来したことを見のがせない。(ナ)の導入により、製材効率が向上し、大型船の建造なども可能になった。

問1 文中の空欄(ア)～(サ)に入る適切な語句を、次の中から1つずつ選んで記号で答えなさい。

- |       |       |      |       |       |
|-------|-------|------|-------|-------|
| ① 早生米 | ② 油   | ③ 甘藷 | ④ 糊料  | ⑤ 染料  |
| ⑥ 榧   | ⑦ 晩稲  | ⑧ 棕櫚 | ⑨ 大唐米 | ⑩ 孟宗竹 |
| ⑪ 中稲  | ⑫ 荏胡麻 | ⑬ 楮  | ⑭ 早稲  | ⑮ 紙   |
| ⑯ 越光米 | ⑰ 木綿  | ⑱ 溶剤 | ⑲ 栗   | ⑳ 綿   |
| ㉑ 桑   | ㉒ 苧   | ㉓ 漆  | ㉔ 絹   | ㉕ 茶   |
| ㉖ 松   | ㉗ 杉   | ㉘ 顔料 | ㉙ 麦   | ㉚ 炭   |

問2 文中の空欄(シ)～(セ)に入る適切な神社名を、次の中から1つずつ選んで記号で答えなさい。

- |             |          |             |
|-------------|----------|-------------|
| ① 賀茂別雷神社    | ② 賀茂御祖神社 | ③ 新羅明神社     |
| ④ 祇園社(八坂神社) | ⑤ 松尾神社   | ⑥ 北野神社(天満宮) |
| ⑦ 伏見稻荷神社    | ⑧ 日吉神社   | ⑨ 石清水八幡宮    |

問3 文中の空欄(ソ)～(チ)に入る適切な国名を、次の中から1つずつ選んで記号で答えなさい。

- |      |      |      |      |      |
|------|------|------|------|------|
| ① 備後 | ② 備中 | ③ 播磨 | ④ 飛騨 | ⑤ 尾張 |
| ⑥ 備前 | ⑦ 信濃 | ⑧ 美濃 | ⑨ 丹後 | ⑩ 近江 |

問4 文中の空欄( ツ )～( ナ )に入る適切な語句を、次の中から1つずつ選んで記号で答えなさい。

- ① 曳浜      ② まき浜      ③ 揚浜      ④ 大鋸      ⑤ 地曳  
⑥ まわし      ⑦ 煮塩      ⑧ 入浜      ⑨ かぶせ      ⑩ 鉤  
⑪ 釜焼      ⑫ 鉦      ⑬ 鑊      ⑭ 浜焼      ⑮ 定置

問5 中世の貨幣について説明した文章として、不適切な(あきらかな誤りを含んでいる)文章はどれか。1つ選んで記号で答えなさい。

- ① 13世紀後半には、都市はもちろん地方の村にも貨幣が広がり、多くの荘園で年貢・公事・夫役の現物納から銭納への転換がおきた。生産物を市で貨幣にかえ、それを都市部の領主に送るようになったのである。
- ② 貨幣の流通が盛んになると、貨幣の取引や貸付を専門におこなう借上などの金融業者も現れ、酒屋などの富裕な商工業者が土倉と称された高利貸業を兼ねることもあった。
- ③ 遠隔地間の代金決済の方法としては、金銭輸送を手形で代用する為替が用いられた。為替は替銭ともいい、それを決済する手形は割符といった。
- ④ 貨幣経済の進展にともなって、庶民の間でも頼母子などの互助的金融や、無尽のような相互融資の機能をもった講が組織されるようになった。
- ⑤ 室町時代にも永楽通宝などの宋銭が使用されたが、需要の増大により粗悪な明銭も流通するようになり、取引にあたって明銭をきらい、宋銭を選ぶ撰銭がおこなわれた。
- ⑥ 幕府・戦国大名などは、悪銭と良銭の混入比率を決めたり、一定の悪銭の流通を禁止するかわりに、それ以外の貨幣の流通を強制する撰銭令をしばしば発布した。

問6 中世の商人について説明した文章として、不適切な(あきらかな誤りを含んでいる)文章はどれか。1つ選んで記号で答えなさい。

- ① 連雀商人や振売と呼ばれた行商人のなかには、炭や薪を売る大原女、鮎などを売った桂女など、女性の行商人も少なくなかった。
- ② 扇売り・布売り・豆腐売りなどには男性が多く、また金融業を営んでいたのもほとんどが男性で、女性がそれらの業種に進出することはきわめて難しかった。
- ③ 平安時代後期ころから、朝廷と結びついた商人には供御人という称号が与えられ、なかでも蔵人所供御人となった鑄物師(灯炉供御人)は、中世前期から廻船などによって全国に商圏をひろげていた。
- ④ 寺社と結びついた商人には神人という称号が与えられ、寺社に一定の製品や営業税を納めることによって、関銭の免除や市場などでの独占的販売権を認められていたが、やがて、本所である寺社などから自立し、注文生産や市場目当ての商品生産をおこなう座もあらわれた。
- ⑤ 15世紀以降になると、しだいに座に加わらない新興商人が増え、旧来の座商人との間に売買の権利をめぐる対立がおこるようになった。地方では、特定の本所をもたない近世の仲間に近い新しい性格の座も出現した。

問7 室町時代には、特定の商品だけを扱い、卸売市場的な性格・機能を帯びるようになった市場もある。次のうち、室町時代に実在が確認できる市場はどれとどれか。2つ選んで記号で答えなさい。

- ① 近江堅田の下肥市      ② 丹生の灰吹場      ③ 摂津今宮の米市
- ④ 聖護院の飴市      ⑤ 興福寺の白粉市      ⑥ 京極の紙見世
- ⑦ 淀の魚市      ⑧ 伏見の酒卸
- ⑨ 京都(三条・七条)の米場

3 次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

問1 次の文章の空欄(ア)～(コ)にあてはまるもっとも適切な語句を、あとの語群から1つずつ選んで記号で答えなさい。なお、同じものを何回選んでもよい。

江戸時代、百姓は(ア)によって年貢や諸役などの負担が重く課されたが、幕府や藩による支配によってその暮らしや生産活動がいちじるしく阻害された時は、領主に対して広範囲で集まって、要求を掲げて、直接行動をおこすことがしばしばあった。これを百姓一揆といい、(イ)の際に村にとどまった有力な旧侍層であった(ウ)もまじえて江戸幕府の支配に抵抗した武力蜂起や村ぐるみでの(エ)など、17世紀初めのものは、中世の一揆のなごりもあった。これは、のちの明治初期のものもふくめると、これまで約(オ)件が確認されている。

17世紀後半からは、村々の代表者が百姓全体の要求をまとめて領主に直訴する代表越訴型一揆が増えたが、下総の(カ)や上野の(キ)のように、(ク)として一揆の代表者が伝説化することが多かった。そして、17世紀末には、広い地域におよぶ大規模な(ケ)一揆も各地で見られるようになり、藩領全域におよぶ場合は全藩一揆と呼ばれたが、たとえば1680年代におこった信濃松本藩の(コ)騒動があった。

〔語群〕

- |          |          |         |         |
|----------|----------|---------|---------|
| ① 嘉助     | ② 大竹与茂七  | ③ 地頭請制  | ④ 兵農分離  |
| ⑤ 豪族     | ⑥ 3,700  | ⑦ 欠落    | ⑧ 真田信利  |
| ⑨ 礮茂左衛門  | ⑩ 刀狩     | ⑪ 義民    | ⑫ 身分統制令 |
| ⑬ 逃毀     | ⑭ 村請制    | ⑮ 鈴木三太夫 | ⑯ 2,700 |
| ⑰ 地頭     | ⑱ 義士     | ⑲ 喧嘩停止令 | ⑳ 佐倉惣五郎 |
| ㉑ 多田加助   | ㉒ 庄屋     | ㉓ 逃散    | ㉔ 野武士   |
| ㉕ 小百姓    | ㉖ 荒木甚右衛門 |         | ㉗ 義農    |
| ㉘ 松木庄左衛門 |          | ㉙ 土豪    | ㉚ 水呑百姓  |
| ㉛ 地下請制   | ㉜ 義郷     | ㉝ 無宿    | ㉞ 4,700 |
| ㉟ 豪農     | ㊱ 惣百姓    |         |         |

問2 次の文章の空欄(ア)～(シ)にあてはまるもっとも適切な語句を、あとの語群から1つずつ選んで記号で答えなさい。なお、同じものを何回選んでもよい。

幕府や諸藩は、一揆の要求を一部は認める場合もあったものの、多くは、武力で鎮圧し、一揆の指導者を厳罰に処した。それでも、18世紀前半になっても百姓一揆は増え続け、凶作や飢饉の時には、各地で同時に多発した。そして、(ア)年には、(イ)の飢饉がおこり、天候が不順だった西日本一帯でイナゴやうんかが大量に発生して、稲を食い尽した結果、大凶作となり、全国に及ぶ飢饉となった。このため、民衆の生活は大きな打撃をうけ、江戸では有力な米問屋が(ウ)年、米価急騰の原因をつくったとの理由で打ちこわしに遭った。そして、全藩一揆もいぜんとしておこっており、たとえば(エ)年の陸奥磐城平藩の(オ)一揆があげられる。

18世紀後半には、(カ)の飢饉がおこり、(キ)年の冷害から始まった飢饉は、翌年の(ク)の大噴火を経て数年間にわたる大飢饉となり、多数の餓死者を出した。そのため、全国で数多くの百姓一揆がおこり、江戸や大坂など各地の都市では激しい打ちこわしがおこった。

(カ)の飢饉の後には、19世紀前半にはいっても、天候も比較的良好、農業生産は、ほぼ順調であった。しかし、1830年代になると(ケ)の飢饉がおき、収穫が例年の半分以下の凶作となり、全国的な米不足となって、厳しい飢饉となった。

大坂でも飢饉の影響は大きく、餓死者が相次いだ。そして、富裕な商人による米の買占めと暴利のむさぼり、役人の無為無策と傍観を見た大坂町奉行の元与力で、隠居後は自宅に家塾の(コ)を開いて門弟に陽明学を教えた(サ)が(シ)年、貧民救済のために武装蜂起したが、すぐに鎮圧されてしまった。それでも、その影響は全国におよび、彼に共鳴する襲撃事件や百姓一揆が頻発した。

〔語群〕

- |        |        |        |         |
|--------|--------|--------|---------|
| ① 明和   | ② 1783 | ③ 宝永   | ④ 1738  |
| ⑤ 享保   | ⑥ 桜園塾  | ⑦ 浅間山  | ⑧ 寛政    |
| ⑨ 1836 | ⑩ 元文   | ⑪ 生田万  | ⑫ 1734  |
| ⑬ 鳴滝塾  | ⑭ 1839 | ⑮ 文政   | ⑯ 天明    |
| ⑰ 洗心洞  | ⑱ 1735 | ⑲ 1781 | ⑳ 1740  |
| ㉑ 1837 | ㉒ 三浦命助 | ㉓ 1732 | ㉔ 富士山   |
| ㉕ 文化   | ㉖ 1739 | ㉗ 正徳   | ㉘ 弘化    |
| ㉙ 1782 | ㉚ 1838 | ㉛ 安永   | ㉜ 大塩平八郎 |
| ㉝ 1736 | ㉞ 寛延   | ㉟ 天保   | ㊱ 御嶽山   |
| ㊲ 尚齒会  | ㊳ 1733 | ㊴ 寛保   | ㊵ 1731  |



4 日本のメディアに関する次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

(あ)年、初の日刊新聞である(ア)が創刊された。その後、自由民権論や条約改正などの動きを背景に、政治評論を多く掲載する新聞が発行されるようになり、世論の形成に影響を与えた。いっぽう、江戸時代のかわら版を引きつぐ(イ)は、通俗的な内容で庶民の好奇心に訴えた。

新聞とともに、明治の言論を支えたのは雑誌である。初期の雑誌は、結社や政党が主義主張を行うことを目的に刊行されたものが多い。たとえば明六社は(い)年に『明六雑誌』を発行、(ウ)の普及につとめた。また明治も半ばになると、欧化政策への批判をとこなえる者が現れ、各々の考えを述べるための雑誌を発行した。加えて『中央公論』、(エ)などの総合雑誌が活発化し、広く雑誌を通じて意見がたたかわされるようになった。

総合雑誌は大正期に入るとますます増加して、改造社などの新たな出版社も加わった。総合雑誌が拡大した背景には、都市化と(オ)がある。第一次世界大戦後、工業化によって東京、大阪などの大都市に企業や官庁が集まり、中等・高等教育を受けたのちに事務職に就く(カ)が大量に出現した。幅広い評論や文芸作品を掲載する総合雑誌は、(キ)層とも総称されるこうした人々によく読まれた。これに呼応するように、(ク)や文庫本のような安くて手に入れやすい出版物が生み出され、出版の(オ)がすすんだ。

関東大震災後の復興計画も、都市化に拍車をかけた。東西の大都市近郊では(キ)層に向けた宅地が開発され、(ケ)が敷かれた。沿線には、遊園地や劇場などの娯楽施設が設けられ、始点となるターミナル駅には(コ)が建てられた。都市を中心とした消費文化は、メディアの多様化によってさらに増幅した。映画は国民的な娯楽となり、(サ)時代には、登場人物にかわってせりふや情景を説明する弁士が活躍した。講談社が(ウ)年に創刊した大衆雑誌(シ)には、スターの写真や、婦人・子ども向けの小説など、より娯楽的な要素が盛り込まれ、人気を博した。同じ年にはラジオ放送が始まり、家族そろってラジオに耳を傾ける風景が日常化する。ラジオは、第二次世界大戦後テレビが現れるまで中心的なマス・メディアであった。

問1 空欄(あ)～(う)にあてはまる西暦年を、次の中からそれぞれ1つ選んで記号で答えなさい。

- ① 1868    ② 1870    ③ 1874    ④ 1880    ⑤ 1917    ⑥ 1925  
⑦ 1931

問2 空欄(ア)～(シ)にあてはまる語を次の中からそれぞれ1つ選んで記号で答えなさい。

- ① エリート    ② キング    ③ トーカー  
④ ビルディング    ⑤ プロレタリアート  
⑥ ホテル    ⑦ 一君万民論    ⑧ 円タク  
⑨ 横浜毎日新聞    ⑩ 改造    ⑪ 絵本  
⑫ オペレッタ    ⑬ 滑稽新聞    ⑭ 官板バタビア新聞  
⑮ 機械化    ⑯ 写実主義    ⑰ 近代思想    ⑱ 新日本  
⑲ 市街電車    ⑳ 縮刷本    ㉑ 小新聞    ㉒ 乗合バス  
㉓ 新中間    ㉔ 郊外電車    ㉕ 太陽    ㉖ 大衆化  
㉗ 地下鉄    ㉘ 東京毎日新聞    ㉙ 百貨店  
㉚ 文化住宅    ㉛ 円本    ㉜ 文民思想    ㉝ 歌劇  
㉞ 平民新聞    ㉟ 俸給生活者    ㊱ マルクス主義  
㊲ 無声映画    ㊳ 文藝評論    ㊴ 漫談    ㊵ 国家改造

問3 前掲の文章中の下線部(a)～(e)に関する次の問いに答えなさい。

(1) 下線部(a)に該当しないものを、次の中から1つ選んで記号で答えなさい。

- ① 東京日日新聞    ② 朝野新聞    ③ 読売新聞  
④ 大阪毎日新聞    ⑤ 郵便報知新聞

(2) 下線部(b)に加わった人物と直接関係のない事項を、次の中から1つ選んで記号で答えなさい。

- ① 西洋事情    ② 学校令    ③ 軍人勅諭    ④ 西国立志編
- ⑤ 郵便制度

(3) 下線部(c)に該当する実例の説明として正しいものを、次の中から1つ選んで記号で答えなさい。

- ① 山路愛山は国粹主義をとなえて『国民之友』を発行した。
- ② 三宅雪嶺は日本固有の価値は真・善・美にあるとし、『日本人』を発行した。
- ③ 徳富蘆花は平民的欧化主義を主唱し、『国民之友』を発行した。
- ④ 黒岩涙香は近代民族主義の立場から『日本』を発行した。
- ⑤ 高山樗牛は雑誌『日本主義』において、国民精神の発揚を主張した。

(4) 下線部(d)ともっとも関連の深いものを、次の中から1つ選んで記号で答えなさい。

- ① 菊池寛    ② 現代日本文学全集    ③ 石橋湛山    ④ 週刊誌
- ⑤ 民俗学

(5) 下線部(e)を定めた戦前の法律の中で、制定がもっとも遅かったものを、次の中から1つ選んで記号で答えなさい。

- ① 専門学校令    ② 高等女学校令    ③ 師範学校令
- ④ 実業学校令    ⑤ 大学令

問4 前掲の文章中の下線部(f)~(j)に関する次の問いに答えなさい。

(1) 下線部(f)に関連する次の事項の中で、事実関係に誤りがあるものを1つ選んで記号で答えなさい。

- ① 関東大震災の死者・行方不明者は10万人以上に達した。
- ② 震災後は、あまりの被害の大きさに遷都論が検討された。
- ③ 復興院総裁には、かつて朝鮮総督として植民地行政に尽力した後藤新平が任命された。
- ④ 震災時には、朝鮮人が暴動をおこしたという流言から殺害事件が起こった。
- ⑤ 都市の範囲は拡大し、1932年に東京市は近郊の郡町村を合併・再編して「大東京」となった。

(2) 下線部(g)に該当する事例と関連人物の組み合わせとして、適切なものを次の中から1つ選んで記号で答えなさい。

- ① 宝塚少女歌劇団 — 小林一三
- ② 帝国劇場 — フランク・ロイド・ライト
- ③ 築地小劇場 — 山田耕筰
- ④ 浅草オペラ — 三浦環
- ⑤ カジノ・フォーリー — 土方与志

(3) 下線部(h)に関する事項として正しいものを次の中から1つ選んで記号で答えなさい。

- ① 新聞には中里介山、徳永直らの大衆作家が小説を連載した。
- ② 1925年には、東京駅前に地上12階建ての丸の内ビルが完成した。
- ③ 繁華街では断髪女性が闊歩し、アプレゲールと称された。
- ④ 洋風の食文化が広まったものの、ライスカレーやコロケが食べられるようになったのは、第二次世界大戦後のことであった。
- ⑤ 杉本京太が発明した和文タイプにより、タイピストが女性の新たな職業になった。

(4) 下線部(i)に関し、戦前のラジオ放送の説明として誤っているものを、次の中から1つ選んで記号で答えなさい。

- ① 国民の健康増進のためラジオ体操が考案され、号令と伴奏が放送された。
- ② ラジオを通じて、相撲や野球などのスポーツが人気を集めるようになった。
- ③ 英語学習の番組は戦前から放送されていた。
- ④ 満州事変以後、定時に玉音放送が流されるようになった。
- ⑤ ラジオ放送は標準語の普及に大きな役割を果たした。

(5) 下線部(j)に関する事項として明らかに誤っているものを次の中から1つ選んで記号で答えなさい。

- ① いわゆる「三種の神器」と言われた家電製品は、テレビ、電気洗濯機、電気冷蔵庫である。
- ② テレビを通じて力道山、長嶋茂雄などのスポーツ選手が人気を博した。
- ③ テレビの普及とともに、映画産業が衰退した。
- ④ 皇太子(当時)と正田美智子の結婚パレードがテレビ中継された。
- ⑤ 東京オリンピックの頃には、カラーテレビの普及率は80%を超えた。









